

ズームアップ3
ZoomUP

お客さまとの相互交流

～会員や地域の皆さまと様々な意見交換を行っております～

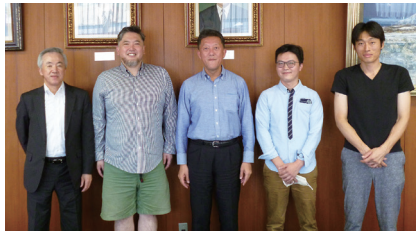
てっぺん塾

2012年10月、地域経済の将来を担う若手経営者および後継者を対象とした「てっぺん塾」を立ち上げました。
この塾では、セミナー、研修会、情報交換会、他地区への産業（企業）視察、他信用金庫経営者の会との相互交流会等の活動を通じて、塾生自らが目指す経営者像を「てっぺん」に位置付け、各々の「てっぺん」を目指しています。
なお、2013年10月には「てっぺん塾」卒業生を対象とした「てっぺん倶楽部」も発足しております。

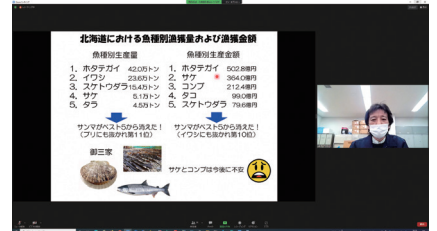
総会・ZOOMを活用したゼミ、セミナー



●2021年6月29日
「デジタル化応援隊事業と
副業プロ人材を活用した経営革新」



●2021年8月20日
「2030年に地域で活躍する人材育成
～0から1のマーケティングと他己社会～
(中央は(独)中小企業基盤整備機構 業務統括官 岸本 吉生 氏)



●2022年2月3日
「豊かな道北の海を未来につなげるために
～稚内水産試験場の役割とは～」

●てっぺん塾 第九期 カリキュラム

塾生数130名 (2022年6月末)

カテゴリー	開催日	テーマ	講師 (敬称略)	参加数
ゼミナール (双方向の 質疑応答& 意見交換方式)	適宜開催	「理事長なんでもQ&Aゼミ」	稚内信用金庫 理事長 増田 雅俊	通算70名 (全20回)
	2022年 1月27日	宗谷地方の気象は将来どうなる？ 気象と生きる・学ぶ・楽しむ ～気象情報の効果的利用から気象データの ビジネス活用まで～	稚内地方気象台 次長 千葉 達雄 水害対策気象官 矢萩 知子	58名
	2022年 2月 3日	豊かな道北の海を未来につなげるために ～稚内水産試験場の役割とは～	北海道立総合研究機構 稚内水産試験場 調査研究部 調査研究部長 高島 信一 研究主幹 後藤 陽子	57名
	2022年 3月 3日	2022年度中小企業経営支援施策の概要 と上手な活用法	北海道経済産業局 産業部 経営支援課 総括係長 村上 由木 地域経済部 製造・情報産業課 機械産業係長 宮田 悠 北海道運輸局 観光部 観光地域振興課 課長 合羽井 享	73名
	2022年 5月27日～ 2022年 6月14日	次世代トッパーリーダー研修 ～我が社の進むべき道を定め、行動できる リーダーを目指す～	ビジネス・コア・コンサルティング 代表 坂本 篤彦 ※中小企業大学校 サテライト・ゼミ 連携	9名

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一部リモートで開催いたしました。

※参加者数には職員を含んでいます。

様々な意見交流の場

会員やお客さまと様々な意見交換を行っております。
(2022年6月末)

地区	名称	会員数等	発足年月
稚内	稚内しんきん てっぺん士業の会	20名	2018年 4月
	稚内FTC ※1	9名	—
札幌	稚内クラブ	93名	1976年 4月
	稚内FTC札幌会 ※2	89名	1999年11月
	札幌地区てっぺん士族の会	20名	2011年11月
	てっぺん札幌経営者の会	62名	2013年11月
旭川	旭川地区士業の会	22名	2013年 7月
	Eagle会 (㈱高組 主宰)	17事業所	2014年12月
雄武	雄武NGC	26名	2019年 2月

※1稚内FTC

宗谷総合振興局長、稚内開発建設部長、稚内警察署長、航空自衛隊稚内分屯基地司令、稚内海上保安部長、稚内気象台長、稚内市長、稚内商工会議所会頭、稚内信用金庫理事長で構成し、地域の危機管理ネットワークをメインテーマに定期的に意見交換を行っております。

※2稚内FTC札幌会

稚内FTCのOB同窓会的活動を行っております。